

# りっぷる Ripple

エスコープ大阪機関紙  
第193号  
1  
19. .28

表紙

・組合員と生産者が力を合わせるエスコープ大阪のまつり

P2

・エスコープ大阪の福祉のこれまで、これから

P3

・活動報告 エスチャンネル カタシモワインフード㈱訪問/省エネ!みんなでチクチク小豆のホットパック作り/和髙スパイス㈱生産者交流会  
・組合員紹介 ・W.Co紹介

P4

・私たちのエネルギーを考える!  
・エコロ給付状況報告  
・子育てひろば案内  
・理事会報告・おたよりネット・編集後記

## 組合員と生産者が力を合わせる エスコープ大阪のまつり

2018年12月2日(日)に、堺市産業振興センター(堺市北区)のイベントホールと南広場で「エスコープまつり2018 ～ひとりひとりが主人公～」を、生活クラブ提携生産者の有志団体「生活クラブ親生会」との共催で開催しました。『FEC自給ネットワークづくり』をテーマに、エスコープ大阪を内外へアピールし、多くの人に知ってもらい仲間を増やすため、来場者1,000名、10名の新規加入を目標に取り組みました。生産者37団体とワーカーズ・コレクティブや「街づくり夢基金」などエスコープ大阪とつながりのある8団体がつどい、取り組みに協力していただきました。



### 活気があり 盛り上がった 今年のまつり

晴天に恵まれ、11時の開始からたくさんの方々が来場があり、屋内会場40ブース、屋外会場5ブースは熱気に包まれました。今年は若い家族連れの参加も増え、三世代での来場もありました。

FEC自給ネットワークのF( food)＝食のエリアでは、「持続可能な生産と消費」をテーマに、登録・予約ができる消費材の紹介、料理提案、試食、販売などをおこないました。中でも、「(有)島原自然塾」、「(株)産直南島原」、「(有)大矢商店」、「一般社団法人コミュニティスペースうみねこ」は初めての参加で、「とても多くの参加があり、楽しく販売ができ有意義だった」、「いつも利用していますとたくさんの方々が声をかけてくれ、参加して良かった」などの声がありました。

E( energy)＝環境のエリアでは、「エネルギーの自給、グリーンシステム(ごみの減量)、CO<sub>2</sub>削減」をテーマに5ブースで展開。「おくるみちゃん」でポトフを保温調理する省エネ法を紹介したり、Rびん(リターナブル・リユースびん)の利便性を呼びかけました。

C( care)＝福祉のエリアでは、「人と人がつながり、支えあうことのできる地域コミュニティ」をテーマに、子どもからお

年寄りまで参加してもらえ、内容を考え、消費材の冷凍弁当や惣菜の紹介や、子ども向けお菓子で市販品との違いを説明しました。子どもの遊びスペースでは「木育」の大切さをアピールしました。「タイヘイ(株)」は「初めて『おかずシリーズ』をまつりで扱ったが大好評でとても良かった」とのこと、新たな発見となったそうです。

また、東日本大震災を忘れないために、宮城県女川町から「コミュニティスペースうみねこ」、宮城県石巻市から「(株)高橋徳治商店」、岩手県山田町から「(有)長根水産」を招き、被災地の現状をパネル展示や各ブースで来場者と共有しました。2018年は関西でも災害が相次ぎました。大抽選会・閉会式では前述の3生産者と、関西の生産者で被害が大きかった「豊共園」と「菜食ファーム」に登壇していただきお話を伺いました。

屋外会場では、ワーカーズ・コレクティブ「ファント」、「あすか」、「WITH」、「かぐや姫」による食事コーナーと、「街づくり夢基金」、「NPO法人福祉ワーカーズほーぶ」、南河内地域委員会推薦の「いちご畑の米夢ちゃん」と「下河内糀屋」が出店参加しました。

### 12名の仲間が 増えました!

来場者から回収したアンケート87枚中で、初めての参加が39名と多く、5回目以上の方が21名とその次に多くありました。チラシを見て参加した方が多いため、次に組合員や配達時の声かけがきっかけで来場されたいました。

まつり開催に向け、地域委員会を中心になって準備をすすめて、職員は会場周辺にチラシをまきました。地域委員会では加入歴が浅く初めてのまつりを迎える組合員に「お友達と一緒にまつりに来てね」と呼びかけました。当日の来場者は914名と目標には届きませんでした。昨年よりも多くの参加があり、生産者の力添えもあり12名の加入がありました。



▲被災地の今を伝えるパネル展示



FECにちなんだワークショップも開催しました▶

### 組合員と得た充実感 生活クラブ親生会 副会長 和髙スパイス(株) 代表取締役 山田 洋平さん

エスコープまつり2018が大成功裏に終了しましたことを、心からお祝い申し上げます。

今年の参加生産者は37団体、うち親生会からは14生産者が参加させていただきました。今回のまつり全体のテーマである「FEC+W自給ネットワーク」に参加する仲間づくりに基づき、今年も「環境」「福祉」「組織」「消費」の4つのエリア毎に、明確な目的とテーマを掲げられ、それぞれの担当生産者の消費材の特徴を盛り込んだ素晴らしい企画を組み立てていただきました。すべてのエリアで、われわれ生産者が最高のパフォーマンスを発揮できる素晴らしい環境が用意されており、ごこのブースの生産者からも、生き生きと参加者とのコミュニケーションを楽しんでいる様子が伝わってきました。そしてイベント終了後は、どの生産者も「やり切った」という充実感に浸りながら、ブーススタッフの皆さんと共に、心地よい疲れを楽しんでいる姿が、とても印象的でした。

また当日の加入も、目標を超える12名と伺っており、生産者一同とても喜んでおります。皆さんの素晴らしい企画力と行動力に心から敬意と謝意を表します。また来年のまつりで皆さんとお会いできることを心から楽しみにしております。





# エスコープ大阪の 福祉のこれまで、 これから

昨年12月22日(土)、エスコープ大阪本部で「エスコープ大阪の福祉の原点確認の訪問」報告集会を開催しました。理事、地域委員、福祉事業スタッフや職員、協力関係にある福祉ワーカーズ・コレクティブにも参加を募り、35名が集まりました。昨年8月の「宅老所よりあい」(福岡県福岡市)訪問の報告(本紙191号に掲載)と共に、エスコープ大阪の20年間の福祉事業・活動をふり返り、これからの福祉を考えていく契機の間となりました。

## 「困ったときは地域の中での たすけあい」から始まった 福祉

エスコープ大阪のたすけあいの始まりであり原点は班活動にあり、班の組合員同士で困った時のたすけあいが日常的におこなわれていました。そして、支えあう関係の必要性をより強く確認したのが、1995年の阪神・淡路大震災での救援活動でした。震災後、福祉たすけあいワーカーズ・コレクティブの設立が進む中、エスコープ大阪では1996年を「福祉元年」とし、市販にない品物を自分たちで作って出してきた共同購入と同じように、福祉事業も自分たちが参加して、地域の資源を活かして作っていくことになりました。各地域で出前学習会を開催して福祉に関心を持つ人を集め、福祉ワーカーズ・コレクティブが各地域で設立されました。



その後、2000年に国の介護保険制度が始まり、法人格がないワーカーズ・コレクティブでは介護保険からの給付を受けることができないため、エスコープ大阪を事業者として介護保険制度を道具とし、訪問介護事業

や高齢者デイサービス(よりあい金剛)を開設することで、より地域に根差したたすけあいの輪をひろめることとしました。地域のワーカーズ・コレクティブをはじめ、NPO法人やボランティア、行政サービスなどと連携し、組合員を含む地域住民もそれぞれの資格や経験を活かして主体的に参加し、取り組む「地域参加型福祉」をめざしました。

## 20年経った今の福祉の現場

現在のエスコープ大阪の福祉事業は、高齢者、障がい者、障がい児を対象に福祉サービスを展開しており、5つの事業所を構え、ケアプラン作成、高齢者障がい者へのホームヘルプサービスやガイドヘルプサービス、障がい者デイサービス、児童デイサービスなど複数の種別を提供できるようになりました。

福祉事業を開始した頃はまだ福祉サービスを必要としていなかった組合員も、20年ほど経った今、介護を受ける当事者となってきました。SOSの利用者の約3割は組合員やその家族、元組合員です。20年前に福祉事業を立ち上げた成果が今現れています。

## 当時参考にした 「宅老所よりあい」の 今を共有

20年前にエスコープ大阪の福祉の取り組みを検討した際に参考とした「宅老所よりあい」を、8月に見学しました。集

会の当日はその様子を映像も使って報告しました。利用者本位に考え、地域とのつながりを大切に取る取り組みや、「当たり前」のことを、当たり前前にできる生活を送る」という設立当初からの理念を維持するために、認知症の事業所として特化することで事業と運動(理念)を両立させていることは参考になる事例です。

参加者が共感し、改めてエスコープ大阪がめざす福祉のあり方を確認することができました。参加者からは、「地域で何ができるのか考えたいと思う」、「もっと地域の中につながりを作りたい」など、感想が寄せられました。

## 共にこれから

私たちの生活はいろんな人や、仕組みがかかわることによって生活が成り立っています。つまり、介護も介護保険制度のサービスがあれば十分とは言えません。

今年度のエスコープ大阪総代会で決めた第6次中期計画(2018～2022年度)の中で、「介護事業では、この棲家へのアプローチとしてショートステイが可能な小規模多機能型居宅介護事業所の開設が求められる」、「障がい者サービス分野では就労支援の可能性をさぐる必要がある」と提起しています。

「地域参加型福祉」をすすめていく上でエスコープ大阪でも、これまでの事業にとらわれず必要なサービスをうみだ

す時期にきています。「住み慣れた街で住み続けられる仕組みづくり」としてワーカーズ・コレクティブなどの他団体と連携し、第6次中期計画での地域拠点づくりで掲げた複合施設の実現を目指していきます。複合施設として小規模多機能デイサービスの建設や店舗D Oを利用した御用聞きや即売車の運用などもワーカーズ・コレクティブとの連携事業として検討することとしています。

一人住まいの組合員も増えるなか、共同購入事業と福祉事業の境目はなくなりだしています。これまでも配送現場で対応してきた、高齢者に対するこまめなサービスや見守りだけではなく、共同購入で注文できる高齢者食の開発も生活クラブ連合会としてすすめています。また、組合員同士のたすけあいを更なるめることができるようにエスコープ制度の改定も検討しています。

「エスコープ大阪は組合員や地域住民の道具となる」ことをめざし、生協総体で10年後必要となる事業をつくっていきましょう。



宅老所よりあいを訪問した福祉担当の白紫喜理事(上)と、NPO法人「福祉ワーカーズほーぷ」の中島さんの発表の様子。





泉州地域  
**エスチャンネル  
 カタシモワイン  
 フード(株)訪問**  
 11月2日(金)  
 カタシモワインフード(株)  
 (柏原市太平寺)

泉州地域理事 宮田 恭子

「エスチャンネル」とは、各  
 地域ごとにメンバー登録した  
 組合員が興味のあるテーマ  
 について一緒に調べ、学びな  
 がら地域活動の担い手を発掘する活動  
 です。今年度のエスチャンネル第5回  
 目は、メンバーから「ワインについて知  
 りたい」という意見があり、主に店舗  
 「城山台D.O.」で取り扱っている「カタ  
 シモワインフード(株)」を訪問しました。

社長の高井利洋さんの案内で、ぶど  
 う畑と工場を見学しました。カタシモ  
 ワインフードがある柏原市は、明治時  
 代から大阪でぶどう栽培をおこなって  
 いる歴史のある産地で、かつては国内  
 生産量1位だったそうです。高井さん  
 は柏原市のぶどう畑が高齢化で手放さ  
 れていくのを買取り、従業員を増や  
 し、ぶどう畑を守っています。そのぶ  
 どうでワインを作り、地域の産業を盛  
 り上げ、活性化につなげています。高  
 井さんのお話を聞き、現場を見ること



**エスチャンネルメンバーと  
 報告ニュースを発行しました**

で、地域を発展させることへの  
 強い情熱を感じました。

エスチャンネルで事前に考え  
 た質問を高井さんにお聞きしま  
 した。カタシモワインフードの  
 ワインの原料産地と品種につい  
 ては、「その年によって違いはあ  
 るが約60%は地元産のぶどうを  
 使い、品種は『テラウエア』が多  
 い」とのことでした。また、酸化防止剤の使用  
 については、「外国製のワインの多くは  
 300ppm以上使用しているが、カ  
 タシモワインフードでは100ppm  
 だということがわかりました。

メンバーは、事前学習をしてから訪  
 問することで、ワインとそれを通した  
 地域の活性化や、地産地  
 消を目指す苦労などを  
 より深く理解できまし  
 た。また、訪問の報告を  
 地域ニュースで地域の  
 組合員へ伝えました。



一連の組合員活動を体  
 験することで、組合員の  
 主体的な活動を知る機  
 会となりました。

大阪市南・中河内地域  
**和高スパイス(株)  
 生産者交流会**  
 11月20日(火)  
 住吉区民センター・  
 調理実習室  
 (大阪市住吉区)

大阪市南・中河内地域委員 矢野 陽子



「和高スパイス(株)」の井上さ  
 んをお招きし、3グループに  
 分かれてキーマカレー作りか  
 らスタート。材料はすべて消  
 費材を使い、包丁やまな板を  
 一切使わずに作れるレシピで  
 す。クミンシードやローレルなど  
 のスパイスは、粉末にしたもの

**スパイスを日々の生活に取り込む術を学ぶ!**

くそのまま油で熱して  
 香りを引き出すことや、  
 入れたスパイスは1時  
 間ほど経ったら取り出  
 さないとえぐみが出て  
 くることなど、スパイス  
 の使い方やポイントを  
 教わりながらカレー作  
 りを楽しみました。

てや、市販品との違いなどの話をお  
 聞きしました。和高スパイスはスパ

南河内地域  
**省エネ! みんなで  
 チクチク小豆の  
 ホットパック作り**  
 11月13日(火)  
 ロゼサロン  
 (富田林市向陽台)

南河内地域理事 梶川 愛

カイロと言え「使い捨て」  
 が一般的ですが、今回の省エ  
 ネ企画では暖房の電気代も抑  
 えられて、繰り返し150回  
 ほど使える「小豆のホット  
 パック」を手縫いで作りまし



**手縫いをしながら  
 省エネの話も弾みました!**

ろと実践されている  
 んだなと感服しまし  
 た。

また、コンセント  
 の向こう側の電力会  
 社や発電方法(電源)  
 についても意見交換  
 しました。電力会社  
 を変えることの抵抗  
 は少しずつ取り払わ  
 れているように感じましたが、何  
 かとセットで安くなるなど価格へ  
 の関心が高く、電力の内容への関  
 心は薄いように感じました。私た  
 ちがすすめる「生活クラブでんき」  
 は、省エネを柱として、再生可能な  
 自然エネルギー100%の電源や  
 CO<sub>2</sub>削減、原発のない社会を目指  
 し、地域への貢献と自然環境に配  
 慮した発電事業を進め、生産から  
 廃棄までトータルに責任を持つと  
 謳っています。

チクチクと手を動かしながら頭  
 と口も動かして省エネについて話  
 し合いました。参加者の皆さんが  
 日頃どんな省エネを実践されてい  
 るかを聞きました。いろいろ省エ  
 ネ情報が飛び交い、皆さんいろい

安くはならなく  
 てもこの中身な  
 らと自信があり  
 ます。



イスの国産化に力を入れていて、消  
 費材の『国産ハーブバジル』や『ミツ  
 クスハーブ』に使われるバジルは『侑  
 王隠堂農園』が育てています。また、  
 『粒入マスタード』や『冷凍本わさび』  
 を冷蔵や冷凍で供給しているのは添  
 加物を使わないためです。カタログ  
 を見るだけでは分からなかった話が  
 たくさんありました。

煮込んでいたカレーは、3グルー  
 プそれぞれ違うスパイスで仕上げま  
 した。味を調えるのは塩だけという  
 シンプルなカレーですが、どれもお

いしく、また食べ比べることでそれ  
 ぞれのスパイスの特徴を知ることが  
 できました。

今回、生産者が消費材に込める思  
 いや、生産者同士が繋がって作ら  
 れている消費材があることを知りま  
 した。どのメーカーのスパイスも同  
 じに見えて、選ぶ判断基準を持ちに  
 くい印象がありました。消費材は  
 私たち組合員と生産者が作るからこ  
 そ安心して利用できるのだと感じま  
 した。カタログを見るだけではわか  
 らないことがたくさんあります。生  
 産者交流会にぜひ参加してください。

紹介します!!  
 うちの地域の  
 組合員さんです

**エスコープの食材で、  
 野菜大好き!**

福岡 五十鈴さん[泉州地域]



一人目を出産後、離乳食を始め  
 る時期に、「安全で安心してできるも  
 のを子どもに食べさせたい」と  
 いう思いを持つようになった福  
 岡さん。近所にスーパーはある  
 のですが、品揃えが十分でなく、  
 原材料を確認するわずらわしさ  
 もあり、エスコープ大阪に加入  
 を決めました。エスコープ  
 の食材のおかげで離乳食もス  
 ムーズに進み、野菜嫌いもなく  
 助かっているとのことでした。

2年前に泉州地域  
 が企画した「侑王隠堂  
 農園」の柿狩りに参加  
 して、とても楽しかつ  
 たので、今後そのよ  
 うな機会があればぜ  
 ひ参加したいそうで  
 す。訪問以来、お子さ  
 んは王隠堂さんの柿  
 の大ファンで、他の柿は食べな  
 いとのこと。柿狩りに参加した  
 時に泉州地域の「子育てひろば」  
 のことを知り、ひろばにも参加  
 されるようになりました。写真  
 は、12月の子育てひろばに参加  
 された様子です。生後3カ月の  
 赤ちゃんを連れて参加してくれ  
 ました。今後も地域の企画でお  
 会いできることを楽しみにして  
 います。

聞き手 山路登葉(泉州地域理事)

GO! GO! 第5回  
**ワーカーズ・コレクティブ**  
**W.Co パックプランニング**  
 <編集・デザイン>



からは今までに利用し  
 たことのない消費材を  
 食べる機会を設けて仕  
 事に活かすことはもち  
 ろん、新たな発見や愛  
 着が生まれることでの  
 仕事の質の向上や相乗  
 効果を図っています。

注文カタログの編集を担って  
 いた「W.Co.ら・しー」と、エ  
 スコープ大阪機関紙の制作を  
 担っていた組合員活動がひとつ  
 になって1996年に「W.Co.  
 パックプランニング」が設立さ  
 れました。現在3名で、主に関  
 西の生活クラブ6生協向けの  
 『食べるカタログ』と、エスコ  
 ープ大阪や関西W.Co.連合会の  
 機関紙を制作しています。

センター内にありますが、家で  
 も仕事ができる環境を整え、そ  
 れぞれの事情をくみ取り、助け  
 合って働いてこられました。新  
 しいメン  
 バーを募集  
 し、次の世  
 代につなげ  
 ていきたい  
 と考えてい  
 ます。



生活クラブ関西の職員と毎週カタログ校正の打ち合わせをします

全員がエスコープ大阪の組合  
 員としての感覚を持ちつつも委  
 託先の生活クラブ関西の意向や  
 モニターの声を生かすカタログ  
 制作を心がけています。今年度

※W.Co.:ワーカーズ・コレクテ  
 イブの略。非営利市民事業で、地域  
 に必要なサービスを共同出資して  
 自主運営し、みんなで作る。地域に  
 必要なコト・モノを自ら生み出し、  
 地域貢献の視点をもちつ。





第7回  
理事会報告 <12月5日>

【10月度決算報告】

- 供給高 1億9,913万円(前年同月比100.2%)
- 組合員数 19,488名(前月比18)
- 一人あたりの出資金 78,956円

【11月の放射能検査結果】

11月は連合消費材739検体、エスコープ大阪独自の消費材2検体の放射能検査を実施しました。生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

【協議事項】

- ①2019年度エスコープ大阪方針案
- ②総代会までのスケジュール
- ③2019RY(2018年産)エスコープ大阪単協独自米について
- ④2020RY(2019年産)上和田有機米生産組合作付け依頼について
- ⑤関西運営委員会への意見要望の提出
- ⑥9月豚肉利用推進キャンペーンまとめ
- ⑦2018年度温州みかんシーズン予約取り組みまとめ
- ⑧原発事故の救済を求める全国運動第四期署名活動の取り組み
- ⑨2019年度GMなたね自生調査について
- ⑩地域委員会活動の理事会報告書式の変更
- ⑪3月遺伝子組み換え反対運動推進月間の地域取り組み内容と特典について
- ⑫2019年度機関会議日程(案)

【報告承認事項】

- ①生活クラブ「えほん」の今後の発行についての単協意見
- ②山田常務理事の辞任について
- ③定款第6条2項の組合員加入について

# キャンドルナイトを通して エネルギーについて 考えてみませんか?



## 私たちの エネルギーを考える!



このムーブメントは2012年です。このムーブメントは2012年です。このムーブメントは2012年です。

また、視聴した映像から、福島第一原発事故の被災地住民の悔しい想いと自然エネルギーを道具に復興をすすめていること、不安定というイメージのある自然エネルギーがネットワークをつなぐことで安定供給でき災害にも強いこと、世界では採算性から自然エネルギーの普及が加速

キャンドルナイトとは、2001年、アメリカのブッシュ政権が原子力発電所を1カ月に1基ずつ増やすとしたエネルギー政策に反対し、カナダで自主停電運動が起こったことから始まり、以後世界的に展開されている運動です。日本では2003年から、夏至と冬至の20時から22時までの2時間だけ一斉に電気を消し、キャンドルを灯して過ごそうと「100万人のキャンドルナイト」が明治学院大学教授の辻信一さんを中心とした100万人のキャンドルナイト事務局により呼びかけられました。キャンドルを囲みゆるやかに過ごし、時間や人とのつながりを大切にする事で持続可能な社会を形成するライフスタイルを提案しています。

「福島の原発が事故を起せば私たちの生活が脅かされる」「他国では原発に代わって自然エネルギーが広まってきているのに、日本はなぜ未だに原発を推進するのか?」「実家がある和歌山県では原発の建設候補地に指定されたが、市民の反対運動により守ることができた」と活発な意見が飛び交っていました。

テレビのニュース番組では、温暖化による異常気象、世界の紛争、幼児虐待など大変な問題がひっきりなしに報道されていますが、時間に追われる日々の忙しさの中で立ち止まって考えることが難しくなっています。キャンドルを持ち帰り、家族や友人たちとその明かりを囲むことでいろいろな話ができたのではないでしょうか。

みなさんもキャンドルを見つめながら、平和のこと、人生のこと、日々の暮らしを見つめ直してみませんか。



環境担当理事 梶川愛

的に進んでいることを参加者に伝えました。そして、組合員自らエネルギーを作り使う「生活クラブでんき」の取り組みの重要性を伝えました。

意見交換の後は保温調理で作ったカレーで早めの夕食をいただき、食後は手作りキャンドルをみんなで灯しました。



エコロ制度 12月度報告

加入者数 1,315名

給付状況	組合員活動を支えるためのケア	2件
	組合員活動中の共同購入品受け取りケア	0件
	加入者本人の入院・通院・在宅療養に伴うケア	1件
	加入者家族の入院・通院・在宅療養に伴うケア	0件
	加入者本人の産前産後のケア	0件
	長期に留守をする時のケア	0件
	リフレッシュのためのケア	0件
	儀式・行事に伴うケア	0件
	高齢の加入者をサポートするケア	1件



エスコープ大阪の子育てひろば

日時	会場
2月13日(水) 10~12時	SAYAKAホール (河内長野・大阪狭山地域)
2月19日(火) 10~12時	さつき野東集会所(南河内地域)
2月6日(水) 10~12時	岬町望海坂第1集会所(泉州地域)
2月26日(火) 10~12時	和泉市コミュニティーセンター(泉州地域)
2月5日(火) 10~12時	庭代台地域会館(泉北NT地域)

\*開催時間内であればいつでも、帰ってもOK  
\*組合員でないお友達との参加もOK \*事前申し込みは不要  
\*お茶代100円(大人のみ)をいただきます

## おたよりネット

「りっぷる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

191号表紙「組合員、生産者、ワーカーズ・コレクティブ、職員がー丸となって!」を読んで

紙面モニター Aさん

いつも明るい笑顔で配達して下さった「ワーカーズ・コレクティブ WITH」の方たちが店舗「城山台Do」を運営されているので、私はもう何度も店舗に行っています。

ストックポイント「光明池Do」開設の経緯などわかりやすく載っていて理解が深まりました。店舗が地域の交流の場としても盛り上がりつつあります。

191号3面「みえぎょれん販売のかつお節工場の見学」を読んで

紙面モニター Bさん

私も当日参加させていただきました。お顔を知っている組合員の方が記事を書かれていることを知り驚きました。当日の「(有)山彦鯨節」の社長さんの情熱と自信に満ちた笑顔が思い浮かびました。生活クラブの消費材のことを、これからももっと知って、もっとお気に入り消費材を増やしていきたいと思っています。

編集後記

昨年は、表紙で報告のあったエスコープまつり2018の準備と片付けに明け暮れて、あっという間に1年が終わってしまいました。早いもので2019年も1月が終わろうとしています。エスコープ大阪は、2020年に前身である泉北生協の設立から50周年を迎えます。節目の年に向けた飛躍の年にするべく、2019年を組合員活動の活発な1年になるように事務局として努めていきたいというのが今年の私の抱負です。(K)

## Ripple おたよりネット

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメモで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

理事會事務局行き  
193号(2019.1.28)

(ペンネームOK)  
●地域名

●お名前

●組合員コード

●班名

発行:生活協同組合エスコープ大阪 制作:W.Co パックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪

〒590-0151 堺市南区小代727

TEL.072-293-4660 FAX.072-341-0022

http://s-osaka.seikatsuclub.coop/